

編集後記

早いもので1980年代の最初の年もおしまつて、クリスマスカードや年賀状書きの季節となった。1981年は国連決議による国際障害年であり、障害者のための行動10年計画の発足する年である。すでに今年春に「国際障害者年日本推進協議会」が民間組織として発足し、理学療法士協会も作業療法士協会もリハビリテーション医学会などと共に加盟している。この12月にはこの協議会により、来年の障害者年国民会議の前準備のための「プレ国民会議」がひらかれるし、来年に入れば、国、地方自治体、民間諸団体による多彩な行事・運動がくりひろげられることになろう。例年行われてきた「リハビリテーション交流セミナー」も規模を拡大して「国際リハビリテーション交流セミナー」としてひらかれる予定が進められている。

今号の特集「国際障害者を迎える」はそのような意義ある年を迎える心準備のために企画された。幸いに、民間での障害者運動の経験をもって総理府の障害者年担当室

に入った丸山氏の全般的な解説、リハビリテーションの国際的動向に詳しい小島氏の世界的な準備状況の報告の寄稿を得て、大きな枠組を正しく把握することができる。ついで、障害児の発達権確保についての基本的な考え方をびわこ学園での長年の実践をふまえて高谷氏から、また「車椅子の弁護士」として活躍しておられる村田氏から障害者自身の立場から障害者問題の原点について書いていただいた。それを受けて理学療法士の立場から森永氏に、作業療法士の立場から寺山氏にそれぞれ、国際障害者を受けとめる両協会の姿勢、計画を述べていただいた。読者の一人一人が来年の活動にどう主体的に参加するかを考える上で、いずれも大きな示唆を与えるものと信ずる。

その他本号は第5回「理学療法と作業療法」賞・準入賞の吉尾氏・他の研究、丸山氏・他の投稿などオリジナリティのある論文で飾ることができた。より一層の投稿を期待したい。
(上田 敏)

☆

☆

☆

リハビリテーション・マニュアル

Physical Medicine and Rehabilitation - A PRACTITIONER'S GUIDE

Kenneth B. Washburn

監訳=千野直一

●A5変型 頁140 写真37
1978 ¥1,800 千160

各疾患についての簡潔で要を得た説明と、症状に応じた処方方を、リハビリテーション医療の実際面からの確に記述した、臨床の必携書。

主要内容 温熱・寒冷・水・電気・牽引療法／運動療法／装具と支持具／下肢の理学療法／上肢の理学療法／腰部の理学療法／他

医学書院 113-91 東京・文京・本郷 5-24-3

☎ 東京 (03) 811-1101 振替東京 7-96693

<編集顧問>

天児民和
九州労災病院長五味重春
埼玉県生活福祉部砂原茂一
国立療養所東京病院名誉院長津山直一
東京大学教授・整形外科水野祥太郎
川崎リハビリ学院長
(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上田敏
東大リハビリ部荻島秀男
リハビリテーションペ
イン(痛み)クリニック
かわらび診療所大喜多潤
兵庫県リハビリセンター鈴木明子
(北海道庁)寺山久美子
都心身障害者センター富岡詔子
山梨日下部病院奈良勲
金沢大学医療技術短大福屋靖子
筑波大学松村秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

大橋博

大丸幸

金子翼

鎌倉矩子

紀伊克昌

駒沢治夫

佐藤章

佐藤馨

嶋田智明

高橋正明

武富由雄

谷岡淳

中屋久長

藤沢しげ子

松本妙子

丸谷隆明

矢谷令子

山下隆昭

和才嘉昭
(担当 細田・西塚)